

新型コロナウイルス感染症学校対応マニュアル

青森市立浜館小学校

1 学校においての対応

(1) 登校時

- ①登校前の検温と健康観察（保護者）→「健康観察表」への記入
- ②教室に入る前に、手洗い、うがいをする。
- ③登校後、「健康観察表」を学級担任に提出
- ④体温未記入の場合は、学級または保健室で体温測定、健康観察をする。

(2) 学校生活

①環境

- ・可能な限り常時換気を行う。換気の悪い密閉空間にしないために授業毎5分間程度の換気を行う。
- ・多くの人が手の届く距離（1～2m）に集まらないための配慮をする。※3密を避ける
- ・教職員（スクールサポーター含む）が手洗い場、トイレ、多くの児童が手を触れる箇所（手すり、ドアノブ、スイッチ等）は定期的にきれいにしておく。
※消毒液の管理は、養護教諭が行う。

②授業

- ・児童、教職員はマスクを着用する。（必要に応じてマスクを外す指示をしてもよい）
- ・グループやペア活動をできるだけ行わないようにする。（近距離での会話や大声での発声をできるだけ控える。【必要最小限】）
- ・体育、音楽、家庭科（調理実習）においては、活動内容を当面の間、感染防止のため活動内容を制限する。

③休み時間

- ・接触の多い遊びは避ける。（近くに人がいない場合はマスクを外してもよい）
- ・天気のよい日は外遊びを推奨する。熱中症に気を付けさせる。
- ・休み時間終了後は、手洗い、うがいをしっかり行う。

④給食時

- ・給食時は、手洗い・うがいをしっかり行う。
- ・給食当番は身支度をし、マスクを着用する。体調がすぐれない時は当番を行わない。
- ・配膳は教員が補助し、おしゃべりをしないで前を向いて給食を食べる。

⑤清掃時

- ・清掃場所には静かに移動し、黙働で掃除をする。
- ・掃除終了後は、手洗い、うがいをしっかり行う。
- ・手洗い場、トイレの掃除については、児童は行わない。（教職員が掃除、消毒）

⑥下校後

- ・児童下校後、各担当場所を消毒する。
- ・児童がよく触れたところを中心に消毒する。（手すり、ドアノブ、スイッチなど）

(3) 児童への指導

①手洗い、うがいの徹底

- ・登校後、体育、休み時間、掃除、トイレ、集会活動の後、給食の前など石けんをしっかりと30秒かけて丁寧に手を洗い、うがいをすることを指導する。
- ・きれいなハンカチ、ポケットティッシュを忘れずに携帯させる。

②咳エチケットの徹底

- ・マスクを着用する。
- ・ハンカチ等で口や鼻を覆う。
- ・とっさの時は、上着の内側や袖で覆う。
- ・周りの人からできるだけ離れる。

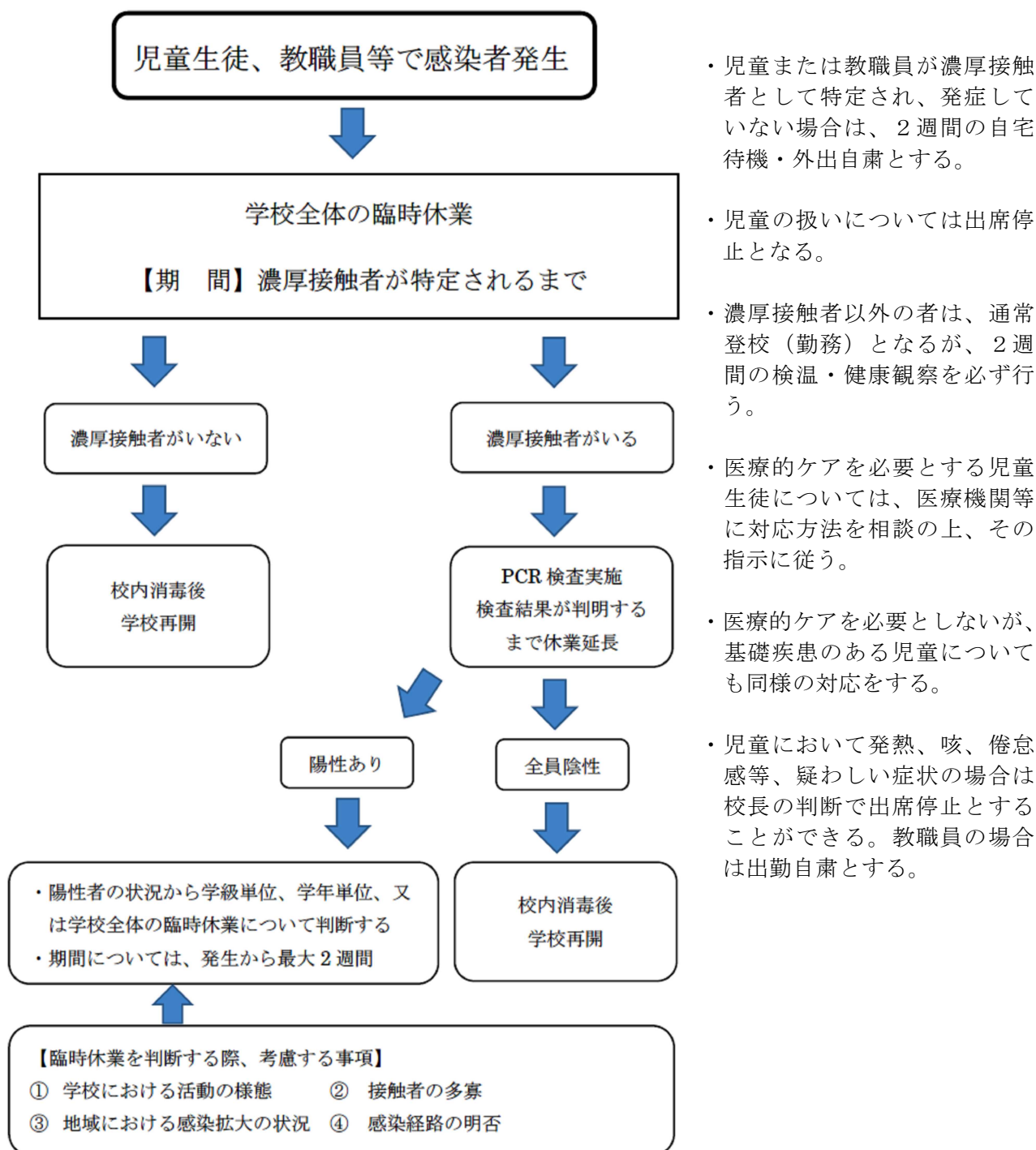
③抵抗力を高める指導

- ・ バランスの取れた食事、十分な睡眠、規則正しい生活、適度な運動、ストレス解消を心がけさせる。

(4) 健康観察の徹底

- ①毎日の検温を忘れずに行う。
- ②体調がすぐれない（調子が悪い）時は、無理せず欠席（自宅療養）する。
- ③発熱や風邪の症状が続いた時、息苦しさや倦怠感、味覚、臭覚の異常を感じた時は、帰国者・接触者相談センター（765-5280）へ連絡をし、指示を受ける。（同居家族も同様）また学校へも 連絡をする。

2 児童、教職員等の感染が確認された場合の対応



「新しい生活様式」の実践例

（１）一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の３つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- ☐ 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
 - ☐ 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
 - ☐ 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
 - ☐ 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - ☐ 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- ☐ 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ☐ 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- ☐ 地域の感染状況に注意する。

（２）日常生活を営む上での基本的な生活様式

- ☐ まめに手洗い・手指消毒 ☐ 咳エチケットの徹底
- ☐ こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） ☐ 身体的距離の確保
- ☐ 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- ☐ 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- ☐ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



（３）日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- ☐ 通販も利用
- ☐ 1人または少人数ですいた時間に
- ☐ 電子決済の利用
- ☐ 計画をたてて素早く済ます
- ☐ サンプルなど展示品への接触は控えめに
- ☐ レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- ☐ 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- ☐ 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を
もしくは自宅で動画を活用
- ☐ ジョギングは少人数で
- ☐ すれ違うときは距離をとるマナー
- ☐ 予約制を利用してゆったりと
- ☐ 狭い部屋での長居は無用
- ☐ 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- ☐ 会話は控えめに
- ☐ 混んでいる時間帯は避けて
- ☐ 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- ☐ 持ち帰りや出前、デリバリーも
- ☐ 屋外空間で気持ちよく
- ☐ 大皿は避けて、料理は個々に
- ☐ 対面ではなく横並びで座ろう
- ☐ 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- ☐ お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- ☐ 接触確認アプリの活用を
- ☐ 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

（４）働き方の新しいスタイル

- ☐ テレワークやローテーション勤務 ☐ 時差通勤でゆったりと ☐ オフィスはひろびろと
- ☐ 会議はオンライン ☐ 対面での打合せは換気とマスク